

第64回全国植樹祭鳥取県実行委員会第7回大会計画策定（実施計画）幹事会

日 時：平成25年1月17日（木）
14:00～16:00
場 所：県庁第32会議室

1. 開会あいさつ

2. 開催趣旨説明

3. 第64回全国植樹祭実施計画について

（1）実施計画最終案の説明（幹事会・総会での意見を踏まえた対応状況ほか）

（2）意見、質疑など

4. 報告事項

- ・残日計の設置について
- ・とうほくとっとり・森の里親プロジェクトについて
- ・一般公募の結果及び招待者関係の今後のスケジュール
- ・視察旅行の概要

5. その他

（1）今後のスケジュールについて

6. 閉 会

第64回全国植樹祭大会計画策定(実施計画)幹事会配席図

事務局員・県警(警衛対策課)					
課長補佐 池内富久 施設植樹担当	課長補佐 近藤一彦 企画式典担当	全国植樹祭課長 (事務局長) 大北誠	農林水産部参事監 (事務局総長) 岸田悟	総務協働担当 課長補佐 濱本修	招待おもてなし担当 課長補佐 田中新一郎
事務局(全国植樹祭課)		招待おもてなし担当 課長補佐 石井彰			
全国植樹祭課参事 梅田雅彦			鳥取県市長会 林務水産課長 植村洋巳		
トトリネット 事業責任者 濱田美絵			米子市立車尾 小学校校長 達磨晋		
鳥取市女性の森 グループ代表 井関伸子			(社)鳥取県観光連盟会員 おかみの会会長 赤澤悦子		
鳥取県町村会 会長 石 操	鳥取県森林組合連合会 会長 森下洋一	鳥取県農林水産部 部長(幹事長) 西山信一	(財)鳥取県観光事業団 理事長 衣笠克則		

第64回全国植樹祭 実施計画最終案(抜粋)



トッキーノ

第64回

感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ

全国植樹祭

とっとり 2013

全国植樹祭の計画体系

基本構想

- 平成23年1月19日策定
- 開催場所や規模、基本的な考え方を記載

- ・大会計画策定(基本計画)幹事会
8/24及び11/7開催し検討
- ・11/21 総会で中間案報告
- ・1/12 幹事会で最終案検討
- ・1/24 総会で最終案報告・承認

基本計画

- 平成24年2月8日、国土緑化推進機構の特別委員会にて説明
- 基本構想に基づき、より具体的な方針を記載

- ・大会計画策定(実施計画)幹事会
8/29及び11/8開催し検討
- ・11/9 総会で中間案報告
- ・1/17 幹事会で最終案検討
- ・1/29 総会で最終案報告

実施計画

- 平成25年2月、国土緑化推進機構の特別委員会にて説明
- 実施内容について詳細に記載

各種マニュアル

第1章 開催概要

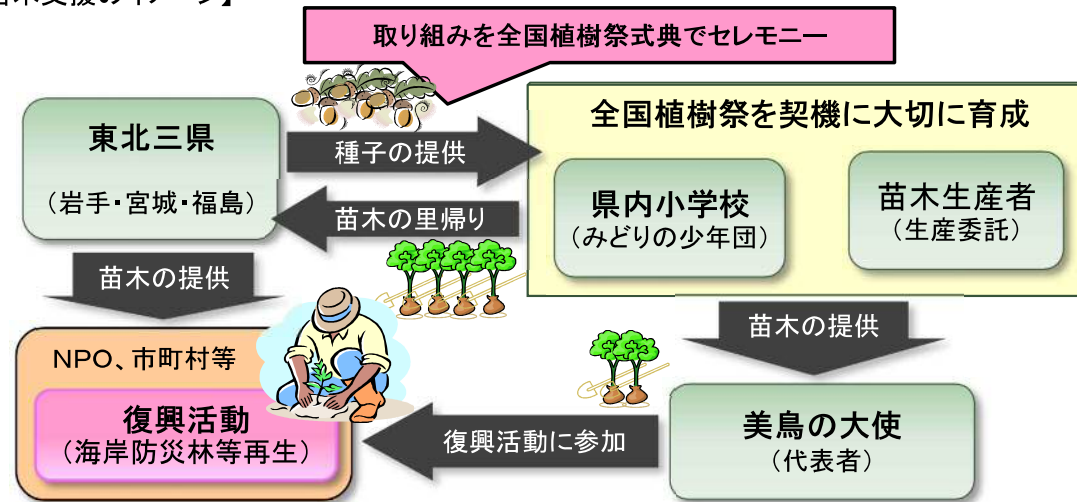
7 開催時期

平成25年5月26日(日曜日)

10 東日本大震災復興支援

(1)『『みどりのきずな』再生プロジェクト構想』に基づく海岸防災林の再生支援

【苗木支援のイメージ】



(2) 東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動の展開

- 公益社団法人国土緑化推進機構が実施している東日本復興支援使途限定「緑の募金」活動を展開し、被災地の「森づくり・木づかい」運動を支援
- 300円以上の募金で、「緑の募金」ピンバッチを1個進呈
- 「緑の募金」200円につき、「トッキーノ」ピンバッチを1個進呈



「緑の募金」ピンバッチ



「トッキーノ」ピンバッチ

第2章 式典行事計画

○開催開始時間を5分前倒し

○東日本大震災復興支援を記念式典へ移動

【プロローグ】

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
◆プロローグ 「はじまり」				
10:10 ～ 10:50	「とっとり」の映像「鳥取の自然・歴史、文化、産業など」県の紹介映像			CD
	「はじまり」のメッセージ			CD
	創作劇「大山森話」			CD(録音)
	大会概要紹介			
	感謝状贈呈 ○大会テーマ ○大会シンボルマーク ○シンボルマーク愛称 ○大会ポスター原画	贈呈: 鳥取県知事 受贈: 各被表彰者		吹奏楽、合唱
	記念切手贈呈	贈呈: 郵便事業株式会社 受贈: 鳥取県知事		吹奏楽、合唱
	記念式典のご案内～(待機)	司会者		



○約200名のみどりの少年団による、森・川・海のパフォーマンス
・「森は海の恋人」のメッセージ発信



○子どもと木の精との語らいを中心に人間と木との共生を表現します。
・主人公の子どもは県民から公募
・セリフの「木に聞きたいこと」も県民から募集

【記念式典】

○記念式典のプログラムに東日本大震災復興支援を追加

時間	プログラム	登壇者・出演者	音楽
◆記念式典 -「はぐくみ」-			
11:00 ～ 11:50	天皇后両陛下 御到着	御先導:鳥取県知事 お出迎え:大会会長、 国土緑化推進機構理事長	ファンファーレ(吹奏楽:金管) 吹奏楽、合唱
	開会のことば	国土緑化推進機構副理事長	ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	三旗掲揚・国歌斉唱	みどりの少年団 日本ボーイスカウト鳥取連盟 ガールスカウト日本連盟 鳥取県連盟	吹奏楽、合唱
	主催者挨拶	大会会長、鳥取県知事	
	表彰(4団体) ○国土緑化運動・育樹運動ポスター 原画コンクール ○緑化功労 ○全日本学校関係緑化コンクール ○鳥取県美しいもりづくり功労者知事 表彰	大会会長 農林水産大臣 文部科学大臣 鳥取県知事 受賞者代表	弦楽
	苗木の贈呈		吹奏楽、合唱
	お手植え・お手播き 参加者代表記念植樹	御先導:国土緑化推進機構 理事長、鳥取県知事 介添え:みどりの少年団、 日本ボーイスカウト鳥取連盟 ガールスカウト日本連盟 鳥取県連盟	吹奏楽、合唱
	大会テーマの表現 「はぐくみ」のメッセージ		吹奏楽 弦楽
	東日本大震災復興支援	贈呈:鳥取県知事 受贈:被災地代表者	CD
	大会宣言	国土緑化推進機構理事長	ファンファーレ(吹奏楽:金管)
	リレーセレモニー ○大会シンボルの引き継ぎ ○新潟県知事のあいさつ	鳥取県知事 新潟県知事 介添え:みどりの少年団	CD
	閉会のことば	鳥取県議会議長	ファンファーレ (吹奏楽:金管)
	天皇后両陛下 御退席	御先導:鳥取県知事 お見送り:大会会長、 国土緑化推進機構理事長	弦楽
記念式典終了			



○「森への想い」や林業を取り巻く現状を表現します。

○「交流の森」「学習の森」「体験の森」「生活の森」の4つの森をパフォーマンス&メッセージで表現します。

○森と人間の共生を呼びかけ、大会テーマ「感じよう 森のめぐみと 緑の豊かさ」を表現します。

【エピローグ】

時間	プログラム	登壇者・出演者	映像	音楽
◆エピローグー「はばたき」ー				
12:00 ～ 12:20	エピローグ案内			
	エピローグ演出 「はばたき」のメッセージ	みどりの少年団、出演者全員		吹奏楽、金管 弦楽、合唱
	おもてなし広場再開		インフォメーション ン文字等	

○出演者と招待者が全員参加できる音楽と演出で、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてグランドフィナーレを飾ります。

◆会場一体型の演出:文部省唱歌「ふるさと」の合唱

○全出演者と招待者、会場全体の一体感を創出し、未来に向けてのメッセージとともに大空にむけてグランドフィナーレを飾ります。

◆生分解性鳥型風船の放天



○全体の演出構成案について、H25.1.8開催した式典音楽専門員会で承認

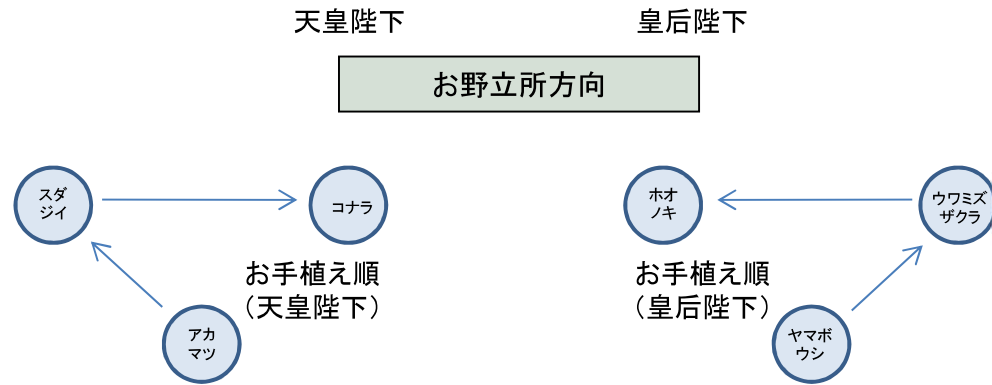
(3) 出演者一覧

項目	人数	内容
式典全体進行 総合司会	1	○日本海テレビジョン放送株式会社
進行役(美鳥の大使)	9	○鳥取県立米子南高校 ○米子永島学園米子松蔭高校
式典補助員	15	○米子永島学園米子松蔭高校
介添え・苗木の贈呈・ 三旗掲揚	73	○みどりの少年団 ・南部町立西伯小学校 ・南部町立会見小学校 ・南部町立会見第二小学校 ・伯耆町立八郷小学校 ・伯耆町立溝口小学校 ・伯耆町立日光小学校 ・江府町立江府小学校 ○日本ボーイスカウト鳥取連盟 ○ガールスカウト日本連盟鳥取県連盟
音楽隊(吹奏楽)	150	○鳥取県吹奏楽連盟 ・鳥取県立米子東高等学校 ・鳥取県立米子西高等学校 ・鳥取県立米子南高等学校 ・鳥取県立米子高等学校 ・翔英学園米子北高等学校 ・南部町立法勝寺中学校 ・南部町立南部中学校 ・伯耆町立岸本中学校 ・伯耆町立溝口中学校 ・江府町立江府中学校
音楽隊(合唱隊)	190	○鳥取県合唱連盟 ・山陰少年少女合唱団リトルフェニックス ・シンフォニー少年少女合唱団 ・鳥取県立日野高等学校 ・翔英学園米子北斗中学・高等学校 ・米子永島学園米子松蔭高等学校 ・国立米子工業高等専門学校 ・コロネット・コール ・富有の里コーラス ・境港市民合唱団ハーフェンコール ・コール・凜-Ring-

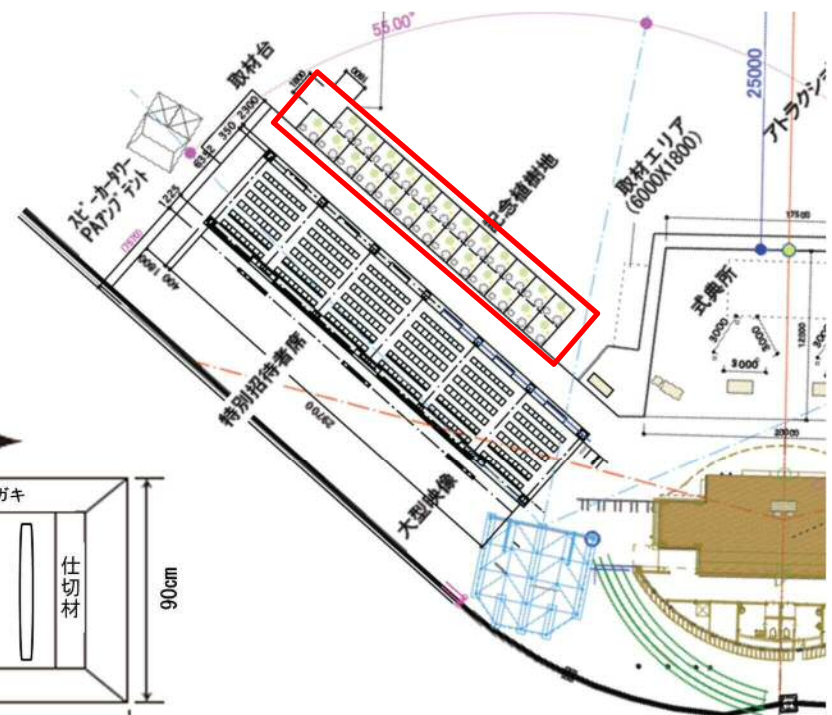
項目	人数	内容
音楽隊 (オーケストラ)	25	○鳥取県オーケストラ連盟 ・米子管弦楽団
創作劇音楽録音 (オーケストラ)	15	○鳥取県オーケストラ連盟 ・鳥取市交響楽団
アトラクション(はじま りのメッセージ)	190	○みどりの少年団 ・伯耆町立岸本小学校 ・伯耆町立八郷小学校 ・伯耆町立二部小学校 ・伯耆町立溝口小学校 ・江府町立江府小学校 ○鳥取県洋舞連盟 ・DANCE STUDIO JAM
和太鼓	10	○鳥取県和太鼓連盟 ・米子がいな太鼓保存会
東日本復興支援	4	○米子市車尾小学校みどりの少年団
メッセンジャー	21	○国立米子工業高等専門学校 ○日野川の源流と流域を守る会 ○株式会社山陰合同銀行 ○江府町立江府小学校みどりの少年団
リレーセレモニー	4	○江府町立江府小学校みどりの少年団
エピローグ(がいな未 来の森)	1	○河島隆樹

第3章 植樹行事計画

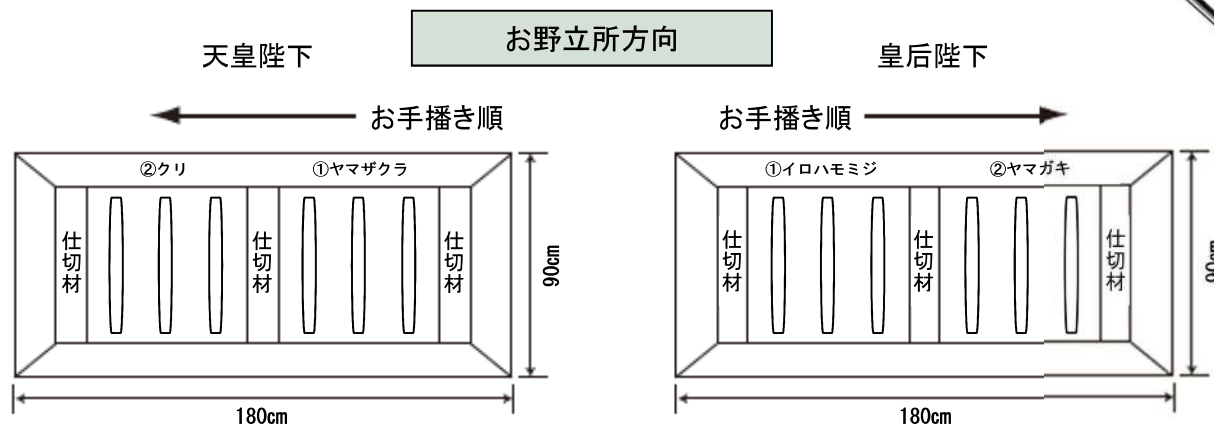
【お手植え樹種配置】



【代表記】



【お手播き樹種配置】



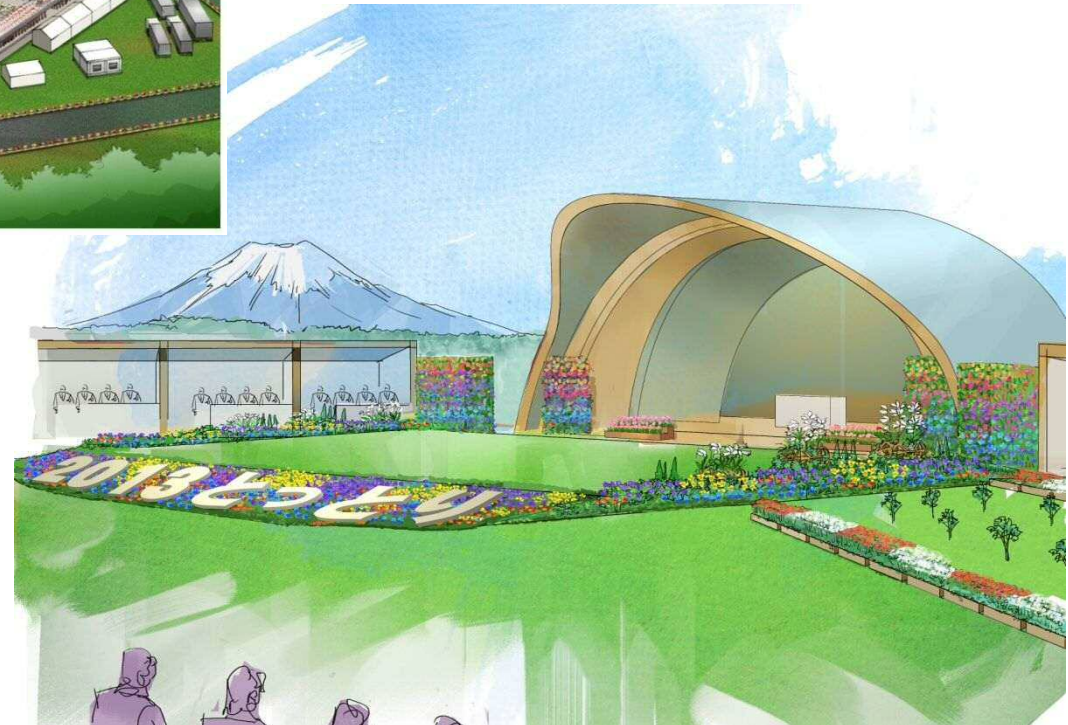
〇とっとり花回廊いやしの森では、植樹祭開催後に自由植樹期間を設定

第4章 会場整備計画

会場パース図



【お野立所斜め方向スケッチ】



お野立所周辺の飾花イメージ図

花の種類の設定

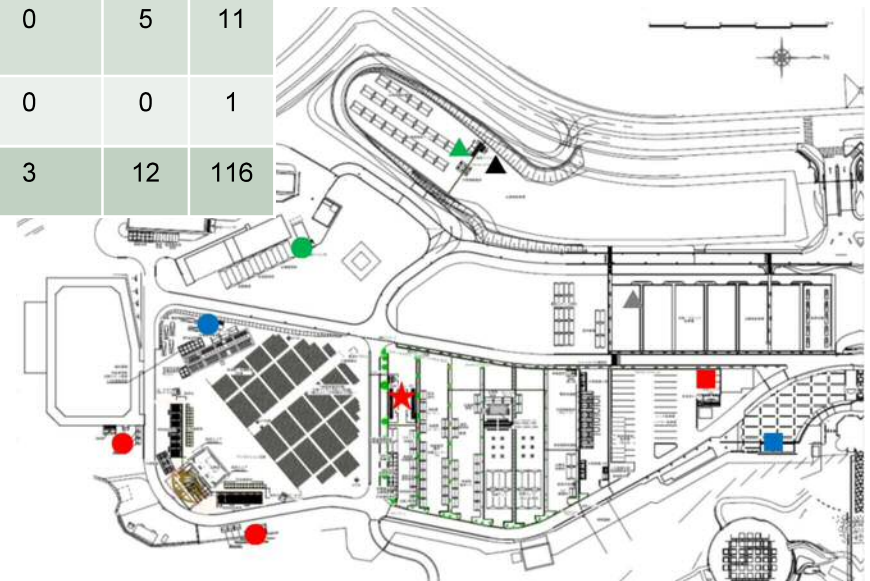
11種類を設定し、設置場所を具体的に記載

№	花名	花色	特徴	設置場所		
				式典会場及び周辺	式典所	沿道
1	ユリ	白	 <p>野山に自生し古くから親しまれた初夏を代表する花。</p>		○	
2	二十世紀梨	白	 <p>鳥取県の県花であり、4月中旬に山々を白く染める。</p>		○	
3	サルビア	赤・青	 <p>夏花壇の代表的な品目で、暑さや乾燥に強く初夏から霜が降るまで楽しめる。</p>	○	○	
4	ペチュニア	ピンク	 <p>春から秋にかけての代表的な品目。花の大きさや花色が豊富で、非常に育てやすい。</p>	○		○
5	マリーゴールド	黄・オレンジ	 <p>花色は黄色、橙色赤色など暖色系が多い。夏の暑さや乾燥に強く、非常に育てやすい。</p>	○	○	○
6	ペゴニア	赤・白・ピンク	 <p>豊富な花色で、草丈も低くコンパクトにまとまる。観賞期間も長い。ため花壇・コンテナなど広く使われる。</p>	○		

上記の他、アゲラタム、メランポデューム、ロベリア、キンギョソウ、ガザニアを選定
JA鳥取西部、県内農業高校等に協力をいただきながら調達
具体的な計画をたてて配置

仮設トイレ計画

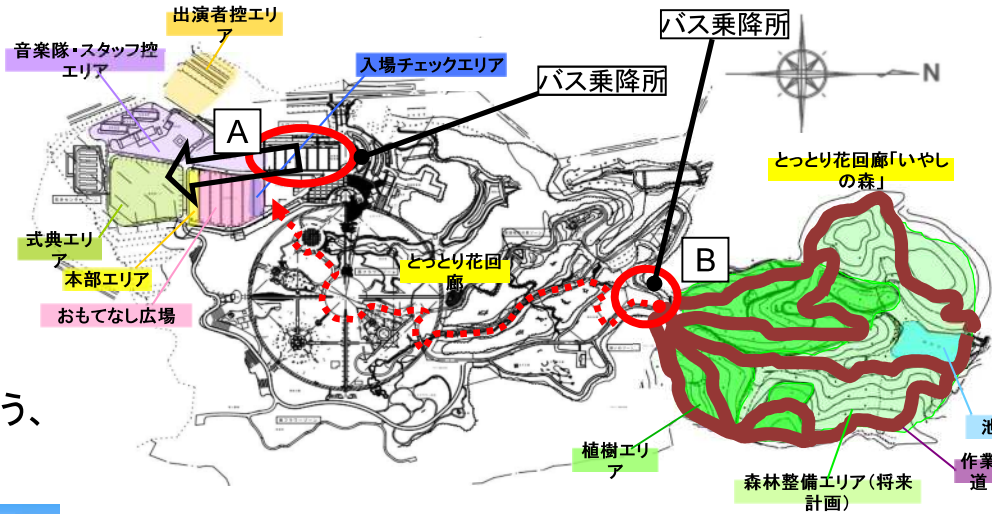
分類	種類	配置用凡例	仮設				既設	合計
			男性用小	男性用大	女性用	多目的		
	入場チェックエリア (招待者用)	■	1	1	2	1	0	5
	入場チェックエリア (スタッフ用)	■	0	0	0	0	7	7
	おもてなし広場	★	30	15	15	2	0	62
	特別招待者控所エリア	●	4	2	6	0	0	12
	音楽隊席後ろ	●	3	1	4	0	0	8
	出演者チェックエリア	▲	0	1	1	0	0	2
	出演者・スタッフ控所 エリア	▲	3	1	4	0	0	8
	合唱控エリア	●	2	1	3	0	5	11
	SVIP駐車場	▲	0	1	0	0	0	1
	合計		43	23	35	3	12	116



第5章 運営計画

会場内動線計画

式典会場・植樹会場(いやしの森)間は、原則、徒歩としますが、高齢者等に配慮した輸送を検討



会場おもてなし計画

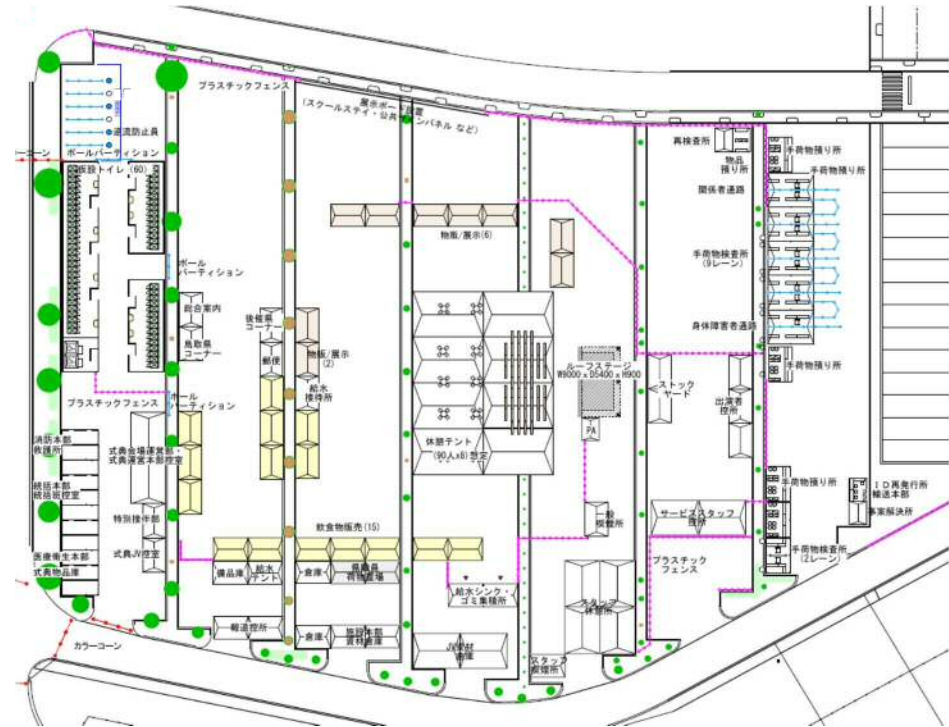
おもてなし広場での滞在時間が十分確保出来るよう、輸送計画などを工夫して対応



会場外でのおもてなし

米子駅前のだんだん広場でのおもてなしブースなど、県外招待者や一般県民も楽しめる場を設置

米子鬼太郎空港に案内所を設置し、大会概要案内、宿泊・観光情報などを提供



実施本部計画

県民参画推進部を追加し
7部・25班体制



研修・リハーサル計画

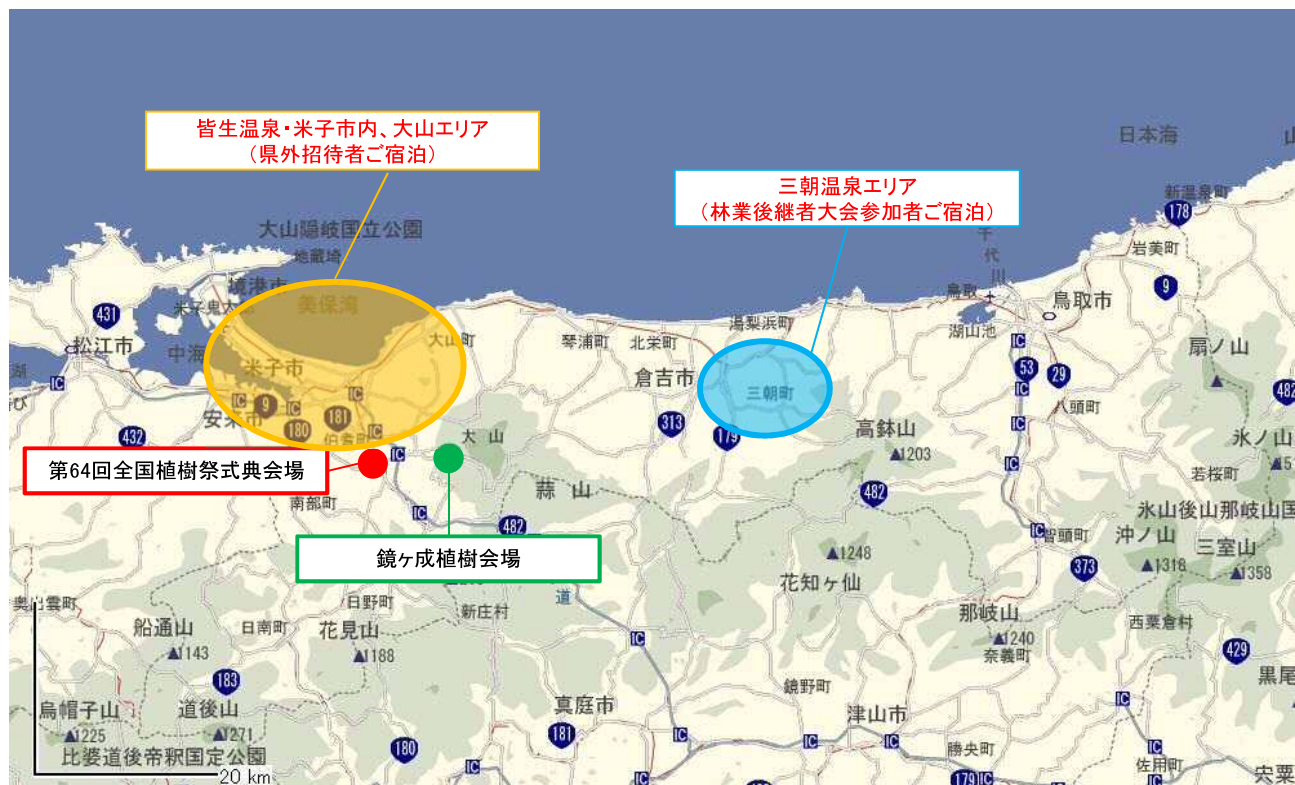
区分	時期	場所	参加者	内容
①出演者説明会	3ヶ月前	各所	出演者代表	式典概要説明会
②合同説明会	開催 6～5週間前	式典会場 植樹会場	本部員全員 出演者代表	式典全体の説明
③式典 リハーサル	平成25年 4月6日(土)	荒天会場	出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	式典部分リハーサル
④荒天会場 リハーサル			出演者(介添者) 本部員(関係班のみ)	会場確認及び説明
⑤総合 リハーサル	平成25年 4月14日(日) (予備日) 平成25年 4月21日(日)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員(一部) 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、 車両、参加者誘導、接遇研修、 非常時訓練他
⑥前日 リハーサル	平成25年 5月25日(土)	式典会場 植樹会場	本部員全員 協力員全員 出演者全員	式典全部、通しリハーサル、 車両、参加者誘導、非常時訓 練他

出演団体等の意見を伺いながら、合同練習等を追加で計画

第6章 宿泊・輸送計画

○関連行事である「第42回全国林業後継者大会」は、三朝町で開催されることから、この大会の参加者であり全国植樹祭の招待者は、原則「三朝温泉」に宿泊いただきます。

○上記以外の式典参加者は、原則「皆生温泉、米子、大山地区」に宿泊いただきます。



○県外招待者に対して、式典前日又は式典終了後の視察コースを設定し、鳥取県の森林・林業・木材産業や自然・文化・歴史に対する理解を深めていただき、観光振興も図られるよう取り組みます。

○宿泊施設にはAED(自動体外式除細動器)を設置し、火災や地震など災害発生時の宿泊施設側の体制を整えるほか、宿泊施設に対して研修訓練の徹底を促し、万が一の災害、事故に備えます。

○県外招待者の宿泊地出発は、原則7時以降を予定しています。

駐車場計画(式典中のバス駐車場候補地一覧)

番号	名称	場所	会場からの距離
1	鶴田駐車場	南部町鶴田地内	バスで約3分
2	消防学校	米子市流通町1350	バス・高速利用で約20分
3	大山隠岐国立公園 上槇原駐車場	大山町赤松字上槇原568-2	バスで約30分

鶴田駐車場をメイン駐車場とし、ここに約150台(全体の約70%)を駐車

【式典中のバス駐車場候補地位置図】



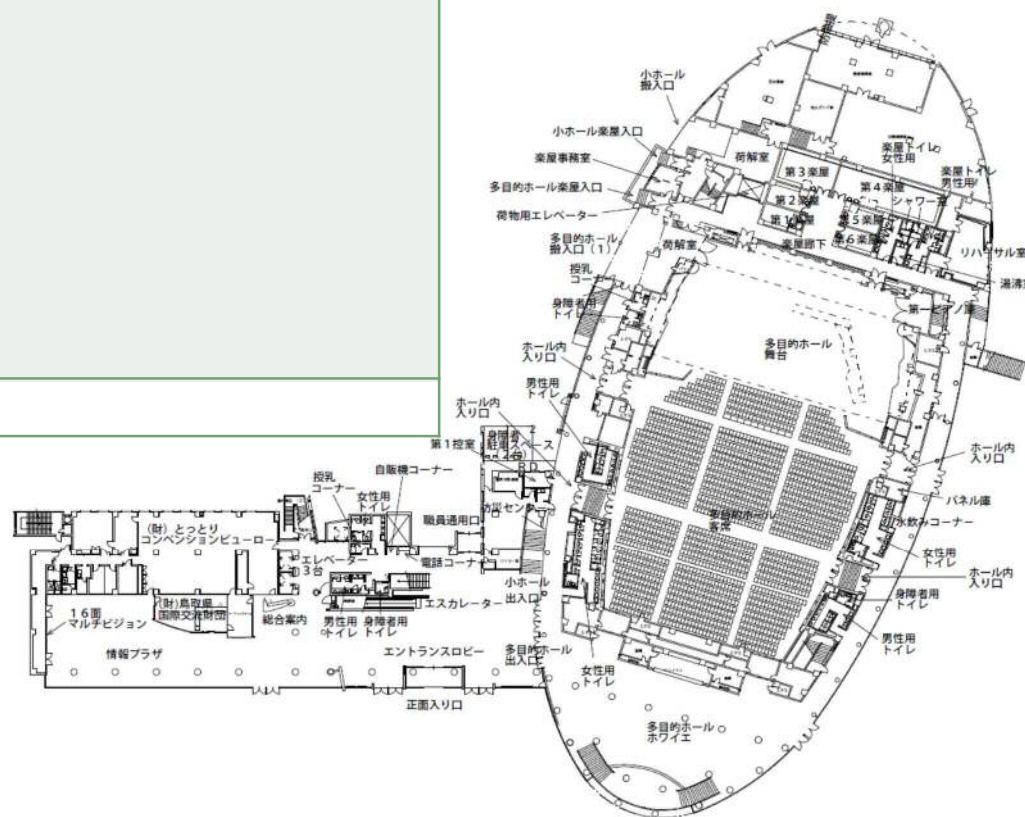
第7章 荒天時式典計画

○晴天会場の式典次第から「プロローグ」「エピローグ」部分、記念式典のアトラクション及び参加者代表記念植樹を除いた構成とします。

○式典音楽は、事前収録した音源やCD等を使用します。

○式典の時間は、50分程度とします。

参加者入場	
11:00	国務大臣、知事、次期開催県知事、開催市長等
式典	
11:10	天皇皇后両陛下下御到着 開会のことば 国歌斉唱 主催者あいさつ 表彰 苗木の贈呈 天皇皇后両陛下のお手植え、お手播き 東日本大震災復興支援 大会宣言 リレーセレモニー 閉会のことば 天皇皇后両陛下下御退席
参加者退場	



第8章 県民運動計画 ～ 第9章 記念事業等計画

○各種取り組み、開催イベントを実績として追加記載



プレ全国植樹祭



残日計の除幕式



リレー植樹



苗木のスクールステイ

第10章 広報・協賛計画

○各種取り組みを実績として追加記載



PRキャラバン隊の活動



大会ポスターの作成



PRグッズの作成・配布

JR米子駅前広場への残日計の設置について

平成24年12月1日(開催176日前)に、県西部地区の玄関口の一つであるJR米子駅前広場に、大会までの日数を電光表示する残日計を設置し、除幕式を行いました。

また、創作劇主人公・エピローグ出演者2人のご紹介や、美鳥の大使活動報告、式典音楽隊による演奏など、全国植樹祭の内容の一部を披露しました。

■残日計

西山農林水産部長、野坂米子市長、JR西日本の横山米子支社長、全国植樹祭の式典出演者、美鳥の大使代表によって残日計の除幕が行われました。

■出席者

- ・米子市長 野坂 康夫 様
- ・南部町長 坂本 昭文 様、江府町長 竹内 敏朗 様
- ・鳥取県町村会 会長 日吉津村長 石 操 様
- ・JR西日本(株)執行役員米子支社長 横山 佳史 様
- ・米子市観光協会会長 野島 譲 様
- ・創作劇主人公 首藤 紗弥 様
- エピローグ出演者 河島 隆樹 様
- ・美鳥の大使 和田町マツ守り隊 代表 安達 卓雄 様
- ・式典音楽隊 鳥取県立米子東高等学校吹奏楽部の皆さん
- ・鳥取県実行委員会 幹事長 鳥取県農林水産部長 西山 信一
- ・PRキャラバン隊長 トッキーノ

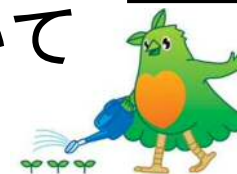


除幕の様子



とうほくとっとり・森の里親プロジェクトについて

～東日本大震災復興支援の取り組み～



- 津波で失われた海岸防災林の再生を支援するため、東北三県で採取した種子を本県で育成し、苗木を里帰りさせるプロジェクトをスタート。
- 大切な種子は、小学校で育成を行うなどして、広く県内に支援の輪を拡大。全国植樹祭記念式典で、東北三県へ目録を手渡し。
- 育てた苗木は、H25～H26に東北三県の復興植樹活動に提供するとともに、美鳥の大使の代表者が活動に直接参加し、全国から集まったNPO等と共に復興を支援することで、鳥取発グリーンウェイブの更なる拡大を推進。



東北三県から種子の提供



県から県内小学校へ提供し、育成を開始

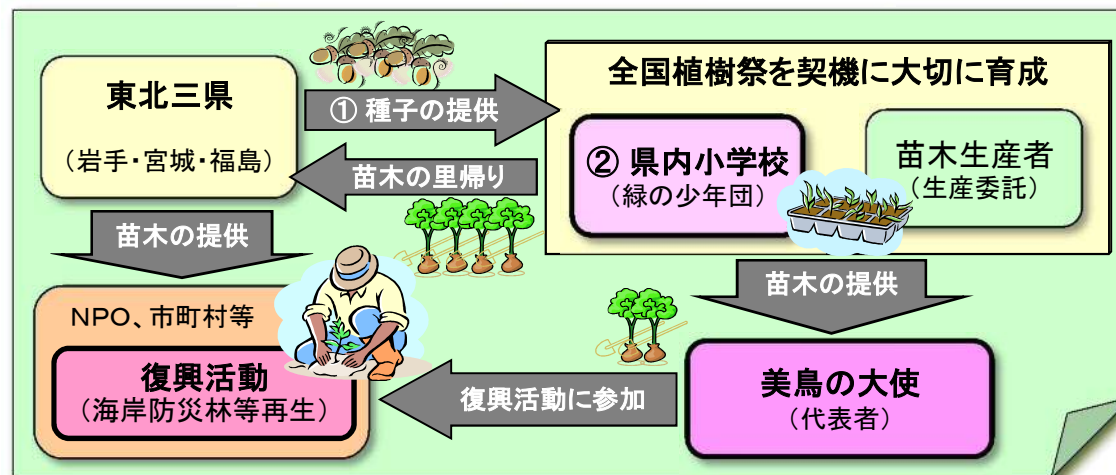


○ 実施状況

- 【11月15日、16日】東北三県で種子の提供セミナー開催
- 【12月26日～】県内緑の少年団結成小学校(希望19校)へ種子及び植木鉢等を支給(222本分)

○ 今後のスケジュール

- 【5月26日】全国植樹祭で東北三県へ目録贈呈、育成苗を展示
- 【H25秋～H26春】東北三県へ苗木を里帰り、合わせて美鳥の大使代表を復興活動へ派遣



一般招待者募集等結果

■ 募集状況

区分	美鳥の大使	一般参加者
募集期間	～H24. 11. 20	H24. 11. 1～12. 25
募集人数等	500名	約800名程度
応募者数	561名	2,050名
抽選日	H24. 12. 14	H25. 1. 23

■ 今後のスケジュール

- | | |
|------------|--------|
| ○平成25年2月頃 | 当選結果通知 |
| ○平成25年3月末 | 繰上げ当選 |
| ○平成25年4月頃 | 落選通知 |
| ○平成25年5月上旬 | 案内状送付 |



第6回大会計画策定幹事会(H24.11.8)及び第7回実行委員会総会(H24.11.9)にいただいた意見に対する対応

いただいた意見	回答・対応方針
鉄道だけでは無く空港でのおもてなしが必要	案内所を設置することとし、実施計画にその旨を記載
県外の方が、長く県内に留まるような工夫が必要	県外招待者には、午前・午後植樹を希望調査 当日だけではなく、前日も視察ルートを設定 招待状郵送の際に、鳥取県観光情報を掲載するHPアドレスをお知らせすることで、県内の観光施設等を情報提供し、一人でも自由に観光出来るように対応
バス駐車場は、近くに良い物件があれば使用すれば良い。	鶴田駐車場をメインに約150台程度駐車することとし、実施計画の表記について修正
県外招待者の朝の出発時間が早い。	県外招待者については、植樹を午前に限定せず、希望調査を実施して柔軟に対応する(県外招待者の出発時間を6時から7時に修正済)。
東日本震災復興支援は記念式典で行うべき。	H24.12.21国土緑化推進機構に説明、了解を得る(実施計画のプログラム修正済)。

第5回大会計画策定幹事会(H24.8.29)でいただいた意見に対する対応

いただいた意見	回答・対応方針
おもてなし広場を準備しても、時間的な余裕がない。来場者に見てもらったり、買い物していただけるよう宿泊輸送計画を点検していただきたい。	おもてなし広場での滞在時間が確保できるよう、輸送計画を工夫することとし、実施計画書に基本方針として明記 具合的な方策:今後作成される輸送計画をチェック
植樹会場から式典会場までは、徒歩での移動ということだが、高齢者や足の不自由な方の移動については、何らかの方策を検討すべきではないか。	車いすの方は、移動車両を準備 その他の方については、車いすを準備し、添乗員等が介助するよう検討中
鳥型風船については、環境への影響がある。	生分解性であることを実施計画書に記載
車いすの方の席について、配慮、考え方を教えて欲しい。	車いすの方専用スペースを一般招待者席右側前方辺りに設ける予定

会場おもてなし関係について

■ 1 会場内のおもてなし(「おもてなし広場」)

【総合エリア(5テント)】 総合案内所、湯茶接待、臨時郵便局など

【展示エリア(8テント)】 国土緑水、県森連、県関係(グリーンウェイブ)、花回廊、協賛企業など

【会場イメージ】

【物産販売、飲食等(15テント)】

- ・県物産協会
- ・農業団体
- ・漁業団体の県域団体
- ・開催3町
- ・公募枠(4テント)

【ステージ】

- ・日野高等学校郷土芸能部(荒神神楽)
- ・淀江さんこ節保存会(銭太鼓、傘踊り、壁塗りさんこ)
- ・米子西高等学校書道部(書道パフォーマンス)



■ 2 会場外でのおもてなし(米子駅前だんだん広場)

全国植樹祭開催日当日に、米子市観光協会が中心となって以下の催事を開催する。

【会場イメージ】

【主な内容(予定)】

- ・飲食や物産の販売
- ・「おうちで植樹祭」と銘打ち、植樹会場と同じ苗木の無料配付
- ・全国植樹祭の生中継(簡易パブリックビューイング)など



■ 3 沿道の飾り付け

のぼり等の主な設置予定箇所(道路管理者等と今後協議予定)

- ・伯耆町鬼守橋西詰付近沿道
- ・鏡ヶ成植樹会場周辺
- ・米子空港周辺
- ・米子駅周辺
- ・皆生温泉(宿泊施設)

■ 4 米子空港、米子駅でのおもてなし

【案内ブースの設置】 植樹祭開催前日に、米子空港・米子駅に案内所を設置

【パネル展示の実施】 開催日前後に、米子空港ロビー内に植樹祭関連パネルを展示